

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report  
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2024年41週（10月2週 10/7～10/13）  
2024年9月報

愛知県感染症情報センター（愛知県衛生研究所内）  
<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>  
E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)  
連絡先：052-910-5619（企画情報部）

## 今週の内容

### ◇トピックス

インフルエンザ、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖などの措置状況、手足口病、マイコプラズマ肺炎、ダニ媒介感染症

### ◇病原体検出情報

### ◇定点医療機関コメント

マイコプラズマ感染症、手足口病、COVID-19、インフルエンザ等

### ◇全数把握感染症発生状況（ ）内は件数。

結核(13)、腸管出血性大腸菌感染症(6)、ジカウイルス感染症(1)、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)、日本紅斑熱(2)、レジオネラ症(2)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(7)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)、後天性免疫不全症候群(4)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、水痘(入院例に限る。)(4)、梅毒(22)、百日咳(7)

### ◇2024年9月報

### ◇定点把握感染症報告数（保健所別、年齢別）

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### ◆ インフルエンザ

41週の定点当たり報告数は0.94、40週130人→41週183人（1.41倍）です。2024/2025シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりインフルエンザウイルスA型（AH1pdm09 6件）が検出されています。

【参考ページ】保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ（愛知県）

[https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

疾患別ウイルス検出状況（愛知県衛生研究所） <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

愛知県インフルエンザ情報ポータルサイト <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/influ.html>

### ◆ インフルエンザ様疾患による学級閉鎖などの措置状況

決定日	管轄保健所 (名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市及び豊田市は除く)
10月7日	江南、衣浦東部
10月8日	瀬戸

【参考ページ】インフルエンザ様疾患発生報告（2024-2025 シーズン）

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/shudankaze.html>

### ◆ 手足口病（図1）【6月20日警報発令】

41週の定点当たり報告数は8.68、40週1,382人→41週1,580人（1.14倍）です。

【参考ページ】手足口病警報を発令します！！（6月20日発表）

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/hfmd2024.html>

### ◆ マイコプラズマ肺炎（図2）

41週の定点（基幹15定点）当たり報告数は5.00、40週64人→41週75人（1.17倍）です。

【参考ページ】マイコプラズマ肺炎の発生状況について（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/mycoplasma-pneumonia-m/2662-cepr/12869-mycoplasma-2409.html>

### ◆ ダニ媒介感染症

2024年では41週（診断週）までに、日本紅斑熱7件（41週2件）、ライム病2件、つつが虫病1件、重症熱性血小板減少症候群2件（41週1件）報告されています。

【参考ページ】ダニ媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

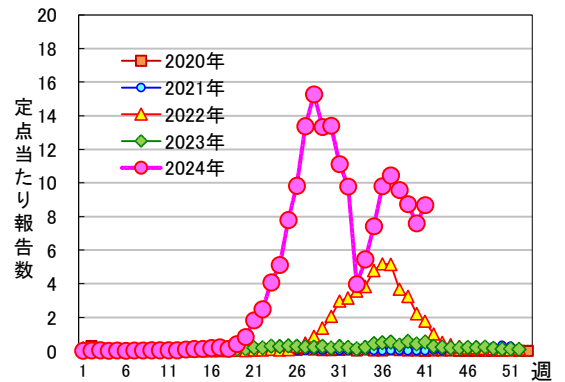


図1 手足口病

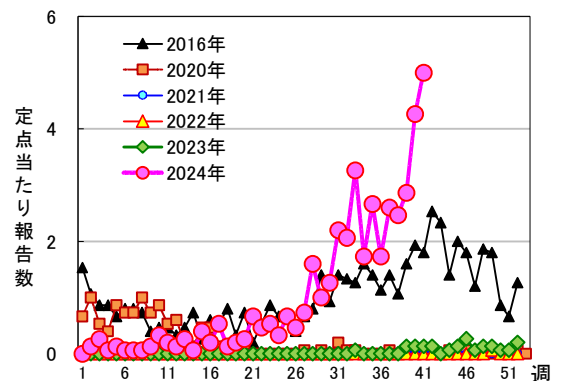


図2 マイコプラズマ肺炎

病原体検出情報

—2024年疾患別ウイルス検出速報—

(2024年10月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎	インフルエンザ	麻しん・風しん	脳炎・脳症
								2024/2025 シーズン		
患者数	42	71	6	1	-	-	9	8(2)	21(1)	4
CV-A6	-	33	3	-	-	-	1	-	-	-
CV-A10	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-A16	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
E-18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
HRV	-	7	1	-	-	-	-	-	1	-
PeV-A1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
PeV-A3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PeV-A6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
Flu AH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
Flu AH3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Flu B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Flu B(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSV	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
RV-A	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GI	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV-GII	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-5	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-
HSV-1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
検査中	7	8	1	-	-	-	1	2	1	-
陰性	13(3)	9(3)	-	-	-	-	7(1)	-	17(2)	3

( )内の数は前回の情報からの増加分を示す(再掲)

インフルエンザは2024/2025シーズン(24年9月~)の結果

麻しん・風しんの数は病原体定点医療機関外からの患者数及びウイルス検出数を含む

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、CV: コクサッキーウイルス、E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、

FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、

Flu B: B型インフルエンザウイルス(未型別)、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、HRV: ヒトライノウイルス、

HSV: 単純ヘルペスウイルス、NV: ノロウイルス、PeV: ヒトパレコウイルス、RSV: RSウイルス、RV: ロタウイルス、SV: サポウイルス

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

- 手足口病 10名まだ流行続いています。  
マイコプラズマ感染症 4名  
covid-19 1名  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 水痘 3例(すべてワクチン接種者)  
手足口病 26例(2回目多し)  
COVID19 2例  
インフルA 1例(HIN1pdm)  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- A型インフルエンザ 5名、コロナ 2名、  
溶連菌 15名、手足口病 31名。  
手足口病がまたちょっと増えました。  
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- COVID-19 2名  
手足口病(8歳~14歳) 4名  
【清須市 丹羽医院】
- マイコプラズマ肺炎 8歳女  
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- インフルエンザA型 2名  
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

### 尾張東部地区

- COVID-19 1例  
手足口病まだ流行持続(発熱のない例が多い)  
マイコプラズマ多くみられます。  
その他溶連菌感染症、ヘルパンギーナ等  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型 2名  
covid-19 8名  
【日進市 みやがわクリニック】
- 13歳男 マイコ  
溶連菌 9例  
手足口病 7例  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- COVID-19 5名  
手足口病 2名  
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 該当者なし  
【常滑市 常滑市民病院】
- 手足口病多い。  
マイコプラズマ肺炎増加(4歳女 1名、5歳  
女 2名、7歳女 2名、8歳女 1名、10~14  
歳男 2名)。  
溶連菌も増加。  
【大府市 みどりの森クリニック】

### 西三河地区

- 黄色ブドウ球菌 4歳女  
マイコプラズマ 6歳女  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- マイコプラズマ 5人 耐性変異株(+) 2人  
変異(-) 3人  
病原性大腸菌O1 14歳男  
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- 4歳女 病原性大腸菌O1(+)/VT(-)  
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 1歳男 病原性大腸菌O1  
マイコプラズマ感染症 9名  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- COVID-19 1名  
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- インフルエンザA型 2名  
【岡崎市 みなとクリニック】
- 10歳女、11歳女 マイコプラズマ感染症  
【幸田町 とみた小児科】

### 東三河地区

- マイコプラズマ肺炎 13歳 女  
【豊橋市 マミーローズクリニック】
- 10代 30代 40代 3名肺炎  
【豊橋市 クリニックいちょう】
- インフルエンザA 15名 B 2名  
マイコプラズマ 8名  
病原大腸菌O153 1歳女  
【蒲郡市 畑川クリニック】
- [9月報 STD 定点コメント]
- マイコプラズマ尿道炎 4名  
マイコプラズマ子宮頸管炎 1名  
【豊橋市 古島クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2024年10月16日現在						
一類～三類感染症						
<関連リンク> 届出基準 <a href="https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun230925.pdf">https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jyun230925.pdf</a>						
● 結核（二類感染症）						
報告保健所	2024年41週報告数			2024年総計(1～41週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	6	1		293	73	82
豊田市				24	3	9
豊橋市				41	9	18
岡崎市				18	3	4
一宮市				52	12	18
瀬戸				65	19	24
半田				23	2	10
春日井	3		1	48	7	12
豊川				22	2	9
津島	2			45	5	11
西尾				15	2	3
江南				30	6	6
新城				1		
知多				38	9	14
清須				20	6	3
衣浦東部	2	1		44	12	8
合計	13	2	1	779	170	231

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）							
番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	22歳	女	9/28	9/30	10/2	O157、VT型不明
2	名古屋市	24歳	男	10/7	10/7	10/10	O157、VT1(+) VT2(+)
3	豊田市	46歳	女	-/-	10/11	10/11	O血清型不明、VT1(+) 無症状病原体保有者
4	春日井	21歳	女	10/2	10/4	10/10	O157、VT2(+)
5	清須	10歳	女	-/-	10/7	10/9	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
6	衣浦東部	5歳	女	10/6	10/6	10/7	O145、VT1(+)

**四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）**

**● ジカウイルス感染症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	50歳	男	ジカウイルス病	動物・蚊・昆虫等からの感染	インドネシア

**● 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路
1	豊田市	67歳	男	動物・蚊・昆虫等からの感染

**● 日本紅斑熱（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	豊田市	79歳	女	愛知県 豊田市
2	岡崎市	52歳	男	愛知県 岡崎市、高浜市

**● レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	岡崎市	66歳	男	肺炎型	国内
2	清須	78歳	男	肺炎型	国内

**● カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	86歳	男	不明	不明	無
2	名古屋市	72歳	男	その他	国内	無
3	名古屋市	84歳	女	不明	国内	無
4	名古屋市	72歳	男	医療器具関連感染	国内	無
5	岡崎市	84歳	女	以前からの保菌	国内	無
6	瀬戸	76歳	男	手術部位感染	国内	無
7	春日井	80歳	男	その他	国内	無

**● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	血清群	感染地域
1	瀬戸	81歳	男	A群	国内
2	豊川	57歳	男	B群	国内

**● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	22歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	36歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	25歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
4	瀬戸	45歳	女	無症候性キャリア	性的接触	国内

**● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	81歳	男	不明	国内
2	瀬戸	77歳	女	不明	国内
3	江南	68歳	男	不明	不明

● 水痘（入院例に限る。）（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	豊橋市	16歳	男	無	国内	
2	岡崎市	17歳	男	不明	国内	
3	一宮市	16歳	男	有	国内	
4	衣浦東部	50歳	女	不明	国内	
● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	25歳	男	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	20歳	女	無症候	性的接触	国内
3	名古屋市	45歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	28歳	女	無症候	性的接触	国内
6	名古屋市	28歳	男	早期顕症	性的接触	国内
7	名古屋市	27歳	女	無症候	性的接触	国内
8	名古屋市	30歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	名古屋市	20歳	女	無症候	性的接触	国内
10	名古屋市	21歳	男	早期顕症	性的接触	国内
11	名古屋市	75歳	男	早期顕症	性的接触	国内
12	名古屋市	48歳	男	早期顕症	性的接触	国内
13	名古屋市	49歳	男	早期顕症	性的接触	不明
14	名古屋市	42歳	男	早期顕症	性的接触	国内
15	豊田市	19歳	男	早期顕症	性的接触	不明
16	豊橋市	32歳	男	無症候	性的接触	国内
17	豊橋市	43歳	男	早期顕症	性的接触	国内
18	半田	26歳	男	早期顕症	性的接触	国内
19	半田	60歳	男	早期顕症	不明	不明
20	知多	65歳	女	早期顕症	性的接触	国内
21	清須	36歳	男	早期顕症	性的接触	国内
22	衣浦東部	18歳	女	無症候	性的接触	国内
● 百日咳（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等	
1	岡崎市	94歳	男	不明	国内	
2	一宮市	30歳	女	不明	不明	
3	一宮市	62歳	女	不明	家族内感染	
4	一宮市	56歳	女	不明	不明	
5	一宮市	47歳	男	不明	不明	
6	豊川	35歳	男	不明	国内	
7	知多	2歳	女	有（追加接種有）	国内、国外	

2024年9月報

(2024年10月11日現在、診断週(新型コロナウイルス感染症は報道発表日)に基づく集計)

9月の一〜五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況〔( )は無症状病原体保有者再掲〕

2023〜2024年に報告のあった 疾病名及び病型  ( ) 内は全数把握対象疾病数	2024年9月			2024年	<参考>2023年	
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	1-9月 累計 <愛知県全体>	1-9月 累計 (昨年掲載値) <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 【対象となる7疾病】	0	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	44 (8)	36 (10)	80 (18)	740 (222)	764 (252)	1,029 (340)
新型インフル エンザ等 (4) *	-	-	-	-	276,991	276,991
三類 (5) 細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	0	0 (0)
腸管出血性大腸菌感染症	20 (3)	8 (2)	28 (5)	137 (31)	122 (28)	153 (37)
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)
パラチフス	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (1)	2 (1)
四類 (44) E型肝炎	0	0	0	8	7	8
A型肝炎	0	0	0	5	2	2
エムボックス **	0	1	1	1	3	4
オウム病	0	0	0	0	1	1
ジカウイルス感染症	0	1	1	2	0	0
重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	1	1	1
チクングニア熱	0	0	0	1	0	0
つつが虫病	0	0	0	1	2	27
デング熱	0	1	1	16	9	11
日本紅斑熱	1	0	1	5	5	9
マラリア	1	0	1	2	2	2
ライム病	0	0	0	2	1	1
レジオネラ症	23	6	29	102	109	145
レプトスピラ症	2	0	2	2	2	3
五類 (24) アメーバ赤痢	4	2	6	28	27	33
ウイルス性肝炎	0	0	0	3	9	10
内訳 B型	0	0	0	1	6	6
内訳 その他	0	0	0	2	3	4
カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感染症 **	11	9	20	118	116	167
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	2	1	1
急性脳炎	2	1	3	22	30	49
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	3	7	8
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	2	8	104	46	57
後天性免疫不全症候群	1	7	8	53	71	85
内訳 無症候性キャリア	1	5	6	35	49	56
内訳 AIDS	0	1	1	16	21	28
内訳 その他	0	1	1	2	1	1
ジアルジア症	0	0	0	3	0	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	1	39	39	45
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	1	1	1
侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	4	160	99	150
水痘(入院例に限る。)	1	1	2	27	22	32
梅毒	41	42	83	625	649	822
内訳 無症候	10	11	21	172	175	214
内訳 早期顕症	28	31	59	435	460	591
内訳 晩期顕症	3	0	3	18	10	10
内訳 先天梅毒	0	0	0	0	4	7
播種性クリプトコックス症	1	0	1	9	7	11
破傷風	0	0	0	5	7	8
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	2	3
百日咳	14	3	17	65	27	42
風しん	0	0	0	1	0	0
麻しん	0	0	0	2	2	2
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	3	3
総 計	177	122	299	2,305	279,188	279,919

\* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症」の位置付けがCOVID-19として5類感染症の定点把握に変更されたため、上記表には2023年5月7日分までを計上しています。

\*\* 2023年5月26日から以下の2疾病について、届出基準及び届出様式が改正されました。  
(改正前)サル痘→(改正後)エムボックス、(改正前)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症→(改正後)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症



五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2024年9月			2024年 1-9月 累計		<参考>2023年				
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		1-9月 累計 (昨年掲載値)		総計		
				合計	合計	愛知県全体	合計	愛知県全体	合計	
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	男	40	120	160	1,258	1,080 631	1,711	1,436 845	2,281
		女	50	32	82	664				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	21	46	67	499	330 278	608	431 399	830
		女	24	27	51	431				
尖圭コンジローマ	男	6	55	61	472	258 93	351	338 133	471	
	女	4	7	11	103					575
淋菌感染症	男	29	61	90	616	518 93	611	690 128	818	
	女	8	5	13	121					737
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		49	13	62	631	585	789		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1	0	1	25	23	40		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2	0	0		

感染症の類型及び定義(感染症法)

2023年5月8日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (49疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	<p>【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p> <p>【再興型インフルエンザ又は再興型新型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p>
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症（政令で指定、一年限定）
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

\* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」の位置付けが5類感染症の定点把握に変更されました。







